

香川高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	知的財産権
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	7006		科目区分	工学基礎 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子情報通信工学専攻 (2023年度以前入学者)		対象学年	専1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	産業財産権標準テキスト 特許編(工業所有権情報研修館 工業所有権情報・研修館)				
担当教員	三崎 幸典				
<b>到達目標</b>					
1、知的財産権について技術者として必要な事項を理解できている。 2、特許について技術者として必要な事項を理解できている。 3、特許検索が自由にでき、内容(概要)を把握できる。 4、自分で新しいアイデアを考え特許検索できる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	知的財産権・特許について技術者として必要な事項をより詳細に理解できている。	知的財産権・特許について技術者として必要な事項を理解できている。	知的財産権・特許について技術者として必要な事項を理解していない。		
評価項目2	特許検索が自由にできその概要を把握できる。	特許検索が自由にできる。	特許検索ができない。		
評価項目3	自分で新しいアイデアを考え特許検索でき、アイデアを改良・新規アイデアを創出できる。	自分で新しいアイデアを考え特許検索できる。	自分で新しいアイデアを考え特許検索できない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	発明は研究開発の成果であり、技術者にとって特許は論文と同様にかけがえのない財産といえる。技術開発競争が益々激しくなる現在において、特許の重要性は益々高まっている。本講義では知的財産権に関する基礎を勉強し、これからの特別研究や就職・進学後の研究に役立つ特許検索に精通することを目標に身近な問題から例題を挙げその例題について特許として成立するか?、特許として成立しない場合でもより良い改良法はないか?新しいアイデアの創出など実際の研究でも行われる考え方を身につけることを目標とする。				
授業の進め方・方法	最初特許検索について詳細に説明し事例を示し特許検索の方法を取得する。次に特許について進め方として説明しいろいろなアイデアを教員又は受講学生が出し先行特許はないか?先行特許を侵害しないような方法はないか?それが特許として認められるか?などを勉強する。テーマを与えそれに対して特許検索し自分の意見や先行特許に抵触しないようなアイデアをレポートとしてまとめる。				
注意点	産業財産権標準テキスト 特許編(工業所有権情報研修館 工業所有権情報・研修館)貸し出すことも可能ですが安価なもので購入して下さい。 オフィスアワーは月曜日15時15分~16時、金曜日15時15分~16時とします。但しそれ以外も受け付けます。必ず misaki(at)es.kagawa-nct.ac.jp(atは@に変更)にメールして日程調整して下さい。				
<b>授業の属性・履修上の区分</b>					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	知的財産権と特許 I 知的財産権とは	知的財産権について簡単に説明できる D1:1,2	
		2週	知的財産権と特許 II 知的財産保護の特色など	知的財産権について簡単に説明できる D1:1,2	
		3週	特許検索の方法 I	特許検索の方法を説明できる D1:1,2	
		4週	特許検索の方法 II	特許検索の方法を説明できる D1:1,2	
		5週	特許検索の実習 I 実際の実例による検索	特許検索ができるD1:1,2	
		6週	特許検索の実習 II 実際の実例による検索	特許検索ができるD1:1,2	
		7週	特許検索のレポート作成	特許検索ができるD1:1,2	
		8週	特許に関する基礎知識 I 実際の実例より	事例を示せばそれに関する特許検索ができる D1:1,2	
	2ndQ	9週	特許に関する基礎知識 I 実際の実例より	事例を示せばそれに関する特許検索ができる D1:1,2	
		10週	事例を示した特許検索実習 I 教員の出願に関する特許検索	事例を示せばそれに関する特許検索ができる D1:1,2	
		11週	事例を示した特許検索実習 II 教員の出願に関する特許検索	事例を示せばそれに関する特許検索ができる D1:1,2	
		12週	事例を示した特許検索実習 III 教員の出願に関する特許検索	事例を示せばそれに関する特許検索ができる D1:1,2	
		13週	自分で考えたアイデアの特許検索 I	自分で考えたアイデアに対する特許検索ができる D1:1,2	
		14週	自分で考えたアイデアの特許検索 II	自分で考えたアイデアに対する特許検索ができる D1:1,2	
		15週	自分で考えたアイデアの特許検索によりさらに進化させることができる。	自分で考えたアイデアをさらに進化できるD1:1,2	
		16週	まとめ(レポートチェック等)		
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標</b>					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0